

創立144周年

学校だより



は南風の子

中種子町立
南界小学校
平成29年5月10日(水)発行

家庭学習の充実！！

校長 吉留 巧

新年度が始まって1か月余りが過ぎました。6名の1年生もすっかり学校に慣れ、元気に過ごしています。2年生以上のお兄さんお姉さんたちも、どの子供たちも3月とは違う上級生の顔になり、下級生の面倒をよく見てくれています。これからの35名の成長を楽しみにしています。

さて、南界小学校では、1月に熊毛地区と中種子町指定の「少人数・複式指導」の研究協力校の研究として算数科の発表と授業公開を行いました。この2年間の研究を機に教師はもちろんのこと子供たちの学習に対する態度（学び方・発表・話し合いや姿勢等）が大きく向上しました。そして、各調査の結果でも全国や県や地区や平均を超える結果を得ました。



5・6年学習風景

平成29年度も、『学力向上』に向けて取り組んでいきます。

学力の向上は、学校で行う授業を中心とした学習活動と家庭学習の取組が両輪となって育まれていきます。小学生のうちに、しっかりと家庭学習の充実を図る必要があります。そこで、家庭学習のねらいを次のように考えます。中でも特に大切なことは、(1)の学習習慣

- | | |
|---|---|
| [家庭学習のねらい]
(1) 家庭での学習習慣を身に付けさせる。
(2) 自発的な学習意欲を伸ばす。
(3) 基礎学力を身に付けさせる。 | 慣を身に付けさせることです。
小学校で身に付けた毎日一定時間機に向かう習慣が、今後の家庭学習に大きく影響を与えることとなります。 |
|---|---|

本校では、低・中・高学年ごとに『家庭学習の手引き』を作成し、各家庭に配布してあります。また、PTA 総会でも係より説明をしました。活用されてるでしょうか。目の届くところに掲示して、日々確実に取り組めるようお願いいたします。

ある家庭教育に関する図書に、「勉強が好きになる秘訣」として次のようなことが書かれていました。

- 家庭学習のいちばんの基本は、小学校1・2年生は国語の本を毎日必ず声に出して読ませること。自信をもって堂々と読めるようにすること。
- 4年生までの算数は徹底して教え、分からないことがないようにする。それができたら、5年生からは自分で勉強するようになる。

子どもたちは、分からなかったところが分かるようになったり、出来なかった問題が解けたりしたときに自分の高まりと喜びを実感し、その後の学習意欲を高めていくものです。

小学生のうちは保護者がどのように家庭学習に関わるかで学力の定着に関係します。中学生以降は関われないことの方が多くなります。今のうちにしっかりと家庭学習を習慣づけたいものです。よろしくお願ひします。

